

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成26年度 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 臨時会員総会が開催される

平成26年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会臨時会員総会が平成27年3月20日(金曜日)に大宮ソニックスシティ906号室で開催された。本総会の議案は、平成27年度事業計画案、収支予算案及び名誉会員の選任についてであった。

総会は小山博史事務局次長の進行により始まり、最初に津田聡一郎会長の挨拶が行なわれ、会員の皆様のご協力に感謝の意を表された。

次に、出席者から手塚康晴氏(さいたま市立病院)が議長に選任され手塚議長より総会役員が指名された。資格審査委員長に猪浦一人理事(済生会栗橋病院)、資格審査委員には東部地区から小林竜一氏(白岡中央総合病院)、南部地区から大地康文(さいたま市立病院)、西部地区から巖崎達矢氏(東松山医師会病院)北部地区から稲山拓司氏(深谷赤十字病院)が任命された。また、書記には鈴木由美子氏(浦和医師会メディカルセンター)と軍司雅代氏(済生会川口総合病院)が、議事録署名人には、小松正人氏(さいたま赤十字病院)と濱田昇一氏(メディカルトピア草加病院)が任命された。



審議前に手塚議長は、「本日18時30分現在の出席者数は83名、委任状出席者数1652名、議決権行使書数208名で、合計1943名となる。この数は第一号から第三号議案を審議するための必要者数である全員会員数2441名の過半数を超えており、定款第18条の規定により本総会が成立する」と宣言した。

議事審議は猪浦議事運営委員長より議事日程が提案され、それに沿い手塚議長の進行により開始された。臨時会員総会の第一号議案である平成27年度事業計画案を津田会長、第二号議案である平成27年度収支予算案を松岡優会計部長よりそれぞれ報告があり、

両議案とも質疑応答はなく、出席者の賛成が過半数を超え議案は承認された。第三号議案の名誉会員の選任については、津田会長が「埼臨技の会長として活躍され、さらに全国でも数少ない女性会長であったことなどから、五内川里子様を推薦したい。」と述べられ、出席者の賛成が過半数を超え承認された。

名誉会員に選任された五内川里子様より、「名誉会員に推薦して頂き、感謝申し上げます。埼臨技会員2000名の確保を目指して頑張ってきたが、今や会員数2400名となり、若い技師も育ってきたことを嬉しく思っている。私に出来ることがあれば、還元したい。」とご挨拶があった。

これにて、総会役員、書記が解任となり臨時総会は閉会した。総会は、手塚議長による円滑な議事進行と出席して下さった会員の皆様のご協力により滞りなく開催することができた。手塚議長、総会役員ならびに会員の皆様に深謝する。

追記 今回、総会に先立ち昨年の12月21日に開催された第43回埼玉県医学検査学会での優秀発表賞等の表彰が山口純也学術部長の進行で行われ、14名の方が受賞された。受賞された皆様には謹んでお祝いを申し上げたい。また、総会終了後、

第44回埼玉県医学検査学会の岩田敏弘学会長の代理で岡田茂治事務局長より、「今回はがんを企画の中心においた。私達臨床検査技師が高度医療推進の中でチーム医療の一端を担うには避けて通ることができない、やりがいのあるテーマであると思う。会員の皆様とともに盛り上げていきたい。」との挨拶があった。



優秀発表賞

○優秀発表賞

- 三枝明加 (戸田中央医科グループ 戸田中央臨床検査研究所)
- 吉野優里 (埼玉県立がんセンター)
- 高橋彩香 (自治医科大学附属さいたま医療センター)
- 森田千奈 (戸田中央医科グループ 戸田中央総合病院)
- 小澤史佳 (埼玉県立小児医療センター)
- 黄瀬祐馬 (上尾中央医科グループ 上尾中央総合病院)
- 西岡純子 (埼玉県赤十字血液センター)
- 田中杏奈 (済生会川口総合病院)
- 今泉麻里 (上尾中央医科グループ 上尾中央臨床検査研究所)
- 菊池裕子 (上尾中央医科グループ 八潮中央総合病院)



学会長特別賞

○学会長特別賞

- 上野初音 (上尾中央医科グループ 八潮中央総合病院)
- 押田依里 (上尾中央医科グループ 上尾中央臨床検査研究所)

○埼臨技奨励賞

- 林 采佳 (埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科
検査技術科学専攻)
- 小島史子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科
検査技術科学専攻)

(文責：伊藤恵子)



埼臨技奨励賞

第44回 埼玉県医学検査学会 学術情報

1. 学会の花形の1つである「特別講演」の内容が決定しました！！

世界の第一線で活躍されている先生に快諾いただきました。

「がん診断の次世代プロジェクト – 1滴の血液でがんがわかる–」

国立がん研究センター研究所 落谷孝広先生に講演をお願いしました。

今年2月に放送されたNHK「サイエンスZERO」で先生の研究をご覧になった会員の方もいらっしゃるかと思います。細胞同士がマイクロRNA (miRNA) を介して、がん化や転移についてあたかも「会話」を交わすかのような不思議な現象が観察され、そして解明されつつあります。

臨床検査技師がかかわる検体検査による診断の最前線から治療薬開発の可能性までわかりやすくご講演いただきます。学会当日を楽しみにしててください。

2. HPが立ち上がりました。

只今、学会長挨拶、演題募集のお知らせを掲載しております。特別講演、公開講演等の情報も随時掲載いたしますので乞うご期待。

また、一般演題申し込みの方は『演題募集』よりJAMTISにアクセスできます。図入りの分かりやすい演題登録マニュアルを『一般演題申し込みの方へ』に掲載しておりますので、ご覧ください。

3. 4月1日から演題募集を開始しました。

実行委員でテスト登録を施行してみました。その結果、いくつか把握していただきたいことがありますのでお知らせします。

①JAMTISの操作は確実に行えば、とてもスムーズに登録されます。

- 会員番号を入力→「確認」ボタンで情報を自動表示させる。
- 途中でどんな操作をしても最後は「STEP5」の「確認」を押してから止める。

②演題登録・抄録入力に少し癖があるようです。

- 演題名および演題サブタイトルは、上付き/下付き/斜体文字を使用することができます。これは抄録集の目次作成のために使用され、抄録 (PDF) には反映されません。
- 抄録の応募方法はWebによる直接入力のみです。本文の直接入力には20分の時間制限があるため、事前にWord等で本文を作成し、文字数を確認の上コピー&ペーストで登録することをお勧めします。

③演題登録時の連絡先メールアドレスは正確に入力してください。

後日、実行委員会から重要なお知らせを配信する予定ですので間違いの無いようお願いいたします。携帯電話のアドレス登録も可能ですが、その場合は携帯電話の迷惑メール防止機能に注意してください。

④内容を修正した場合、JAMTISに反映されるには少し時間がかかります。

登録内容をプレビュー (PDF) で確認後に修正した場合、その内容が反映されるのに30分～60分程度かかる事例が観察されました。確認は少し時間を置いてからにしてください。「修正ができない！」と無用にあわてることとなります。こんな現象がありますから締切直前ではなく、少し早めに抄録の登録完了することをお勧めします。

講演2：続いて中原医師に心電図の臨床応用について講演をしていただいた。普段なかなか聞けない臨床医の立場からみた心電図の読み方を実際の心電図波形を多く用いてわかりやすく説明していただいた。

また、普段私たちが立ち入ることの少ないカテーテルアブレーション治療の現場について、穿刺の方法から最新の解析装置まで写真を多く使い紹介していただき、大変興味深い内容であった。

慌ただししい臨床の現場では、誘導の付け間違いだけでなく、記録速度や感度が異なることで印象が変わり、診断に影響を与える可能性があるので注意する必要があることや、緊急対応しななければならない心電図を臨床の現場でどのような点に注意して判読しているのか知ることができた貴重な講演であった。

(文責：早川勇樹)

テーマ 甲状腺検査について学びましょう

— 甲状腺ホルモン不応症と甲状腺疾患の検査について —

主催 血清検査研究班

実施日時：平成27年 3月12日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科—20点

講師：土田 貴彦 (アボットジャパン株式会社)

司会：齊藤 雅一 (埼玉医科大学病院)

参加人数：会員35名 賛助会員4名

出席した研究班班員：齊藤雅一 佐野悦子 相坂由里子 大島まり子 持田和紀 鈴木淳子

研修内容・感想など

今回は、「甲状腺ホルモン不応症と甲状腺疾患の検査について」と題して土田氏に講師をお願いした。前半には日常見られる甲状腺疾患としてバセドウ病、橋本病、無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎等の疾患の説明と甲状腺ホルモン、TSHの動態、自己抗体検査についてのわかりやすい説明があり、関連検査の動向を再認識することができた。

次に、甲状腺ホルモン不応症 (Resistance to Thyroid Hormone :RTH) についての説明があった。RTHは1967年、レフェトフらにより「甲状腺ホルモンに対する標的臓器の作用が減弱している家族性症候群」として報告された疾患である。その症状は様々であるが、唯一共通に認められる異常は「FT4が上昇しているにもかかわらず、血中TSHが抑制されていない、いわゆる不適切TSH分泌 (Syndrome of inappropriate secretion of TSH :SITSH) という甲状腺機能検査所見である。RTH家系のほぼ85%はβ型T3受容体 (TRβ) の変異が認められ、RTH診断のアルゴリズムが確立されている。

SITSHが「真のSITSH」か「見かけ上のSITSH」であるかの鑑別として次のことがあげられる。一般に血中TSHの動きはFT4の変動より遅いと言われている。このため、バセドウ病再燃や破壊性甲状腺炎の初期にはSITSH様の所見を得ることがある。以上より、甲状腺ホルモン不応症の診断基準作成委員会では、SITSH様の所見が得られた場合、1ヶ月後に再検査し、SITSHが持続していればさらにその3ヶ月後にも再検査してSITSHの持続を確認する必要があるとしている。なお、検査法上の問題によりSITSH様の検査結果が得られることがあるので、再検査の時はできるだけ検査法を変えてみることを勧められる。特に、抗サイログロブリン抗体陽性の症例では抗T4自己抗体の影響でFT4が高目に測定されることもあるので、可能ならば1度は自己抗体の影響を受けにくいとされる2ステップアッセイ法で測定することを推奨している。よって、免疫検査担当者は、自施設のFT4測定試薬の原理を十分に理解し、臨床からの問い合わせに際して1ステップなのか2ステップなのかを説明できるように準備しておく必要性を感じた。

(文責：齊藤雅一)

平成26年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第13回 理事会議事録

日 時：平成27年 3月12日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項

Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 島村 矢作 小山

奈良 猪浦 長岡 伊藤 松岡

小島 濱本 藤井 長澤 山口

鳥山 野瀬 神嶋

(監事)遠藤

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は18名で、現在数20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(平成27年2月12日～平成27年3月11日)

2月12日(木)平成27年度公益社団法人第12回理事会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、伊藤、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、鳥山、武関、野瀬、神嶋、遠藤

2月13日(金)会計部会：松岡

2月21・22日(土・日)検査説明・相談ができる

臨床検査技師育成講習会：

津田、島村、岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、矢作、小山

2月21日(土)山梨県技師会設立60周年記念式典・

祝賀会：津田

2月22日(日)関甲信支部幹事会：津田、神山

2月24日(火)第2回検査室運営研修会：

津田、濱本、藤井、長澤、武関

2月26日(木)事業部会議：

津田、島村、濱本、藤井、長澤

2月27日(金)第44回県学会第4回実行委員会：

長岡

3月7日(土)東武医学技術専門学校卒業式：
神山

3月11日(木)平成26年度埼玉県医師会臨床検査
精度管理調査報告会：

神山、岡田、矢作、猪浦、藤井、
山口、鳥山、野瀬

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 第23回埼玉県糖尿病教育セミナーの後援について

2) メディカルオンラインの閲覧サービスについて

3) カラー複合機見積もりについて

2 総務部

1) 「埼臨技だより」第430号、3月15日発行予定

2) 2月21・22日、検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会を開催した。

3) 創立60周年記念誌に不備があり、訂正・お詫びをした。

3 事業部

1) 2月24日、第2回検査室運営研修会を開催した。

2) 2月26日、事業部会を開催した。

4 学術部

1) 埼臨技会誌第61巻4号 (Vol.61 No.4 2014)、
3月15日発行予定

2) 平成26年度地区別研修会が終了した。

参加者数 東部地区：30名

西部地区：28名

北部地区：23名

5 精度保証部

1) 特になし

6 会計部

1) 2月13日、会計部会を開催した。

2) 平成26年度会費3名分15,000円、入会金3名分3,000円、合計18,000円の入金があった。

3) だより第429号印刷代81,432円、総会議案書代146,016円、封筒代59,400円、合計286,848円を石井印刷に支払った。

7 精度管理委員会

1) 平成26年度埼玉県医師会臨床検査精度管理事業報告書発刊。

2) 平成26年度埼玉県医師会臨床検査精度管理

事業での施設評価間違いに対応した。

- 3) 3月11日、埼玉県医師会精度管理事業報告会が開催された。

8 一都八県会長会議

- 1) 特になし

9 日臨技関甲信支部

- 1) 2月22日、関甲信支部幹事会が開催された。

10 日臨技

- 1) 3月28日、理事会開催予定

11 第44回埼玉県医学検査学会

- 1) 2月27日、第4回実行委員会を開催した。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向（会費納入済）（平成26年度分）
平成27年3月2日現在
会員数 2,441名
（新入会員 213名〔平成25年度会員数2,306名〕
賛助会員 79社〔平成25年度 72社〕

2 総務部

- 1) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の決算報告について

3 事業部

- 1) 関甲信支部・首都圏支部人材育成研修会決算報告について
- 2) 第2回検査室運営管理研修会決算報告について

4 学術部

- 1) 平成27年度理事・研究班合同会議について
例年2年に1度開催されていたが、本年度より毎年度開催することとした。

5 精度保証部

- 1) 日臨技データ標準化事業埼玉県代表責任者について
神山 清志氏（浦和医師会メディカルセンター）から野瀬 和彦氏（深谷赤十字病院）に変更となった。

6 会計部

- 1) 特になし

Ⅳ. 議題

- 1 平成26年度臨時会員総会時程表について
標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

- 2 平成27年度定時会員総会日程について
標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

- 3 平成27年度埼臨技永年会員表彰者について
標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

- 4 平成27年度理事会開催日程について
標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

- 5 検査室管理運営委員の退任と委員の補充について
標記の件について、濱本事業部長より任期途中のため新たな委員の補充はせず、小島・伊藤両理事に残りの期間サポートをお願いしたいとの発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

○埼玉県立がんセンター

採用条件：非常勤職員（週3日勤務）

連絡先：048-722-1111 内線2112

総務・職員担当 豊田

○川口市立医療センター

採用条件：臨時職員

連絡先：048-287-2525 庶務課 漆山

○医療法人 一成会 さいたま記念病院

採用条件：パート職員

連絡先：048-686-3111 内線631

検査科 加賀谷

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あとがき

このあとがきは3月末日に執筆しています。3月も末日になると長年お世話になった方のご退官と高視聴率の朝ドラの最終回や4月からの軽自動車税の増税などが重なり、大きな変化がおこるように感じています。

しかし、4月になると、段々と暖かくなり、桜の花も咲き始め、ようやく春らしくなってきます。ちょうどこの季節に咲きほこる桜を見ると、新年度から新しい出発をする人たちを応援している気がします。

この季節の日本は、あらためて素敵な季節であると思う今日この頃です。

(奈良 記)

